

第2期 岩内町総合戦略進捗状況

令和5年2月

最重要業績評価指標（KGI）

「目指す姿」の実現に向けて、次のとおり最重要業績評価指標（KGI）を掲げて取り組みます。

項目	当初（H30年度）	現状（R3年度）	目標（R6年度）
社会移動（転入者数－転出者数）	△ 149人	△ 132人	△ 114人
出生数	68	55	55

※最重要業績評価指標（KGI）：Key Goal Indicator 最終的な目標数値

※社会移動の目標数値は、2040年までの22年間で流出入均衡を目指し、R2年度から毎年7人程度、社会移動の減少を抑制するものとします。〈統計名：住民基本台帳人口移動報告年報〉

※出生数の目標数値は、若年女性人口の減に伴う出生数の減少を、R2年度から毎年2人程度に減少数を抑制するものとします。〈統計名：住民基本台帳人口移動報告年報〉

基本目標1 稼ぐ力を伸ばし、安心して働けるようにする

【基本的方向1】 地域の特性を活かした、生産性が高く、稼ぐ地域の実現

〈5年後の目標（重要業績評価指標：KPI）〉

項目	当初（R1年度）	現状（R3年度）	目標（R6年度）
一人あたりの課税対象所得（単位：千円）	2,709	2,858	2,874

※個人の町民税所得割の課税対象となった前年の所得金額で、地方税法に定める各所得控除を行う前のもの
 〈統計名 市町村税課税状況等の調 第12表 総括表〉

※一人当たりの課税対象所得の目標数値は、直近3カ年の増加幅を考慮し、R2年度から毎年33千円程度の増加を目指すものとします。

● 地域産業の稼ぐ力の拡大

〈概要〉

漁家経営が厳しさを増す中、ナマコの種苗生産・育成技術の習得を進め、生産した種苗の放流による資源維持・増大による所得の増加を図ります。

また、これまでに蓄積した深層水の効果に関する試験データや利用者からの聞き取り調査の結果を解りやすい形で利用企業に情報提供するほか、深層水の試供や分水施設の休日開館、深層水普及イベントの開催といった各種の取り組みを継続することにより、地場商品の付加価値向上や新規利用企業の拡大を図ります。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
1. ナマコ資源生産基盤強化事業	地場産業サポートセンター
2. ニシン稚魚放流事業 （後志南部地域ニシン資源対策協議会広域連携事業）	水産農林課 水産農林係
3. 岩宇3町村や民間企業との協働事業（泊・神恵内・岩内 広域連携事業） （積丹半島地域活性化協議会、地域商社キットブルー）	水産農林課 水産農林係
4. 身欠きニシン高品質化技術開発事業	地場産業サポートセンター
5. 深層水による地場産業支援事業 （地場商品の付加価値向上や新規利用企業の拡大）	地場産業サポートセンター
6. 地場産品普及PR事業 （岩宇4ヶ町村地域振興連絡協議会 広域連携事業）	観光経済課 商工振興係

〈各施策の進捗状況〉

1. ナマコ資源生産基盤強化事業



	所管	地場産業サポートセンター		
	着手状況	平成28年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）		
<p>□ナマコ種苗生産技術の確立 漁家経営が厳しさを増す中、ナマコの種苗生産・育成技術の習得を進め、生産した種苗の放流による資源維持・増大による所得の増加を図る。平成27年度以降、技術を習得するための試験を実施してきたが、生産量が少なく、ゼロとなる年度もあり技術の確立には至っていない状況にあった。そのため、令和3年度から東海大学の指導・協力を受けながら試験を進めている。</p> <p>・令和4年度 <ナマコ種苗の放流> 令和3年度に生産した稚ナマコを放流し、資源の維持・増大を図る。 <ナマコ種苗生産試験> 産卵期にあたる7月下旬に漁業者から親ナマコを借用し、産卵・ふ化させてナマコ幼生を得る。 ナマコ幼生を水槽内で稚ナマコを育成し、最適な育成環境を検討する。 <ナマコ中間育成試験> 令和3年度に引き続きナマコ漁場近辺の海中に設置している中間育成施設に、今年度育成した稚ナマコを收容し、生残率や体長などを定期的に計測し、データ収集後は放流する。</p>	R3 決算額	8,015		
	R4 予算額	6,820		
	R4 決算見込額	6,820		
	KPI(任意)			
	中間育成したナマコの放流数			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値	
0	3,000	3,000	-	

2. ニシン稚魚放流事業
(後志南部地域ニシン資源対策協議会広域連携事業)



	所管	水産農林課 水産農林係		
	着手状況	平成20年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）		
<p>日本海後志南部地域沿岸の5町村4漁協で構成する「後志南部地域ニシン資源対策協議会」において、種苗放流や効果調査などを実施し、ニシン資源の増大に向けた事業を展開している。 なお、令和2年度から種苗の斃死対策として、これまでの種苗搬入後の直接放流から、放流場所（寿都町有戸漁港、泊村泊漁港）において約2週間中間育成を行った後に放流をしている。</p>	R3 決算額	1,316		
	R4 予算額	1,316		
	R4 決算見込額	1,316		
	KPI(任意)			
	-			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値	
-	-	-	-	

3. 岩宇3町村や民間企業との協働事業
(泊・神恵内・岩内 広域連携事業)
(積丹半島地域活性化協議会、地域商社キットブルー)



	所管	水産農林課 水産農林係		
	着手状況	平成29年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）		
<p>平成29年10月、神恵内村、泊村、岩内町の3町村が出資し、地域商社「株式会社キットブルー」を設立、3町村が地域商社の運営に係る費用を補助し、マーケティング事業を図ることなどを目的としてスタートしたが、3町村からの補助は令和2年度をもって終了。 積丹半島地域活性化協議会は、岩宇産ナマコのGI制度（地理的表示保護制度）登録手続きの完了予定である令和3年度をもって補助を終了。</p>	R3 決算額	498		
	R4 予算額	0		
	R4 決算見込額	0		
	KPI(任意)			
	-			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値	
-	-	-	-	

4. 身欠きニシン高品質化技術開発事業



	所管	地場産業サポートセンター		
	着手状況	令和元年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）		
<input type="checkbox"/> 身欠きニシン高品質化技術の開発 江戸時代からの伝統的な水産加工品である身欠きニシンについて、製造工程における細菌数を把握し、有用細菌による風味向上技術を開発する。 ・令和元年度 <町内水産加工場の実態調査> 町内身欠きニシン加工場4社において、製造条件の調査並びに製造した八分乾製品の性状評価を実施した。 ・令和2年度～3年度 <高品質な身欠きニシンの試作試験> 令和元年度の結果を基に、製造条件を検討した。 また、昨年度八分乾から分離した17菌株のうち3菌株を選定し、これら3菌株添加による八分乾製品の風味への影響を調べた結果、1菌株に風味(品質)の向上が期待される結果を得た。 ・令和4年度 得られた結果について、報告会を開催した。現場で要望があれば試作試験を行う予定である。	R3決算額	0		
	R4予算額	0		
	R4決算見込額	0		
	KPI(任意)			
	現場試作試験数			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値	
0	0	0	3	

5. 深層水による地場産業支援事業 (地場商品の付加価値向上や新規利用企業の拡大)



	所管	地場産業サポートセンター		
	着手状況	過年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）		
<input type="checkbox"/> 深層水の利用効果・課題の整理 ・これまで蓄積した深層水の効果に関する試験データの整理 ・利用者からの聞き取り調査の実施 ・関係機関（道総研、道内深層水取水地）と連携しながら課題解決に取り組む <input type="checkbox"/> 付加価値向上・新規利用企業の拡大 ・整理した利用効果等をわかりやすい形で地場利用企業等に情報提供する。 ・深層水の試供、分水施設の休日開館、深層水普及イベント等の取り組みにより、地場商品の付加価値向上・新規利用企業の拡大を図る。 <input type="checkbox"/> 情報発信・新規事業の開発 ・利用効果等に関して、SNSを活用した情報発信を行う。 ・深層水に関する商品開発や新たな利活用方法について検討する。	R3決算額	79		
	R4予算額	219		
	R4決算見込額	219		
	KPI(任意)			
	企業登録数			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値	
255	278	285	300	

6. 地場産品普及PR事業 (岩宇4ヶ町村地域振興連絡協議会 広域連携事業)



	所管	観光経済課 商工振興係		
	着手状況	過年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）		
<input type="checkbox"/> 地場産品の普及PR ・岩宇4ヶ町村で構成する「岩宇4ヶ町村地域振興連絡協議会」において、岩宇の商品をPRするための物産展を年2回開催。 ・岩宇4ヶ町村で実施することによって、総合的な魅力を発信することができ、観光客の誘客効果も期待できる。 ・また「ふるさと納税返礼品の紹介」なども行っており、物産展の効果が次に繋がるよう取り組んでいる。 (実績等) ○令和2年度 札幌市1回（ポールスター札幌）※コロナウイルスの影響のため事業規模縮小 ○令和3年度 札幌市1回（ポールスター札幌）※コロナウイルスの影響のため事業規模縮小 ○令和4年度 札幌市1回（ポールスター札幌）※2022.10.20現在、次回物産展の時期未定（場所は札幌市内を予定）	R3決算額	100		
	R4予算額	150		
	R4決算見込額	150		
	KPI(任意)			
	-			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値	
-	-	-	-	

● 新たな産業の創出

〈概要〉

観光地経営の視点に立ち、「稼ぐ力」としての観光資源を磨き上げ、ニセコ圏との連動も含めた新たなツーリズム（「歴史・文化」「サイクルツーリズム」「アドベンチャートラベル」等）を創出し、一年を通じた長期滞在型の観光地域づくりを行っていきます。岩宇・南後志地域に新たなエネルギー産業として洋上風力発電の導入を目指し、関連産業への波及効果とともに、発電設備の設置・維持管理での地方港湾「岩内港」の活用による地元産業への好影響が期待できます。合わせて水産業の振興に繋がる「漁業協調策」も実施し、漁業の健全な発展に資する取り組みを展開していきます。新たな増養殖事業による岩内ブランドの事業化を検討します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
7. 岩内ツーリズム推進事業	観光経済課 観光係
8. IWANAI RESORT支援事業	観光経済課 観光係
9. 歴史的地域素材活用研究事業 (地元産ホップ等の試験栽培、クラフトビール醸造の研究)	観光経済課 産業活動支援係
10. 新たな増養殖企業化検討実証試験事業	水産農林課 水産農林係
11. 洋上風力発電推進事業 (岩宇・南後志地区洋上風力発電導入推進組合 広域連携事業)	企画財政課 地域創生係

〈各施策の進捗状況〉

7. 岩内ツーリズム推進事業



	所管	観光経済課 観光係		
	着手状況	令和2年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）			
道の駅いわないをサイクリストの拠点施設として、サイクルスタンドを設置したほか、ロードバイク用空気入れ及び工具セットを設置した。 今後は、町内各所にサイクルスタンドを設置することにより、町内サイクルツーリズムの促進を図る。	R3決算額	0		
	R4予算額	0		
	R4決算見込額	0		
	KPI(任意)			
サイクルスタンド設置台数				
	H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
	0	2	2	10

8. IWANAI RESORT支援事業



所管	観光経済課 観光係		
	着手状況 平成28年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）	
IWANAIRESORTを運営するYukikamui(株)に対し、スキー場唯一利用可能な索道施設（センターベアリフト）を、指定管理者として管理・運営を行い、施設の計画的改修を実施した。 また、当該法人の主力事業であるキャットツアーの事業拡大の支援として、森林管理署および北海道に対する各種申請等支援および用地確保に向けた関係機関との調整に努めた。		R3 決算額	0
		R4 予算額	0
		R4 決算見込額	0
		KPI(任意)	
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
999	87	200	1,407

9. 歴史的・地域素材活用研究事業 (地元産ホップ等の試験栽培、クラフトビール醸造の研究)



所管	観光経済課 産業活動支援係		
	着手状況 令和3年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ストーリー性を有するホップやホワイトアスパラガスを中心とした農作物を栽培する農業者に対する補助の実施 ホップ 栽培者1名（2年目） R3 センテナリアル20株、カスケード20株、ソラチエース10株を栽培し、1.35kg収穫 収穫したホップは、ブルワリーの開設を控えていた荒井氏（高原ホテル）へ試験研究用として町が無償提供。 R4 ザーツ20株、トライアンプ20株、ソラチエース10株を追加栽培。 昨年植え付けたホップは、2年目となり14.6kg収穫。新規分は成長が足りなかったため収穫せず。 収穫したホップは、山本氏からブルワリーを開設した荒井氏（IWANAI BREWERY&HOTEL）へクラフトビール製造用に無償提供。 アスパラガス 栽培者1名（2年目） R3 町民から土地を借り、土壌改良を行う。 R4 育成済みの苗を200株植える。管内のアスパラガス栽培の先進地喜茂別町へ視察予定。 酒米 栽培者1名（2年目） R3 酒造好適米「彗星」を20kg作付けし、40俵収穫。 収穫した酒米は、OEMを委託した田中酒造が買い取り、岩内岳伏流水と岩内海洋深層水を活用した日本酒と甘酒を製造。 酒造好適米「彗星」を20kg作付けし、40俵収穫。 ・栽培技能向上のための調査・研究を目的とした先進地への視察 視察先 サッポロビール株式会社バイオリソース開発研究所（上富良野町） 参加者 町役場職員のほか、ホップを活用した商品開発を担う町内の関係事業者5名 ・町外への魅力発信を目的としたリーフレットの作成 		R3 決算額	10,645
		R4 予算額	11,887
		R4 決算見込額	11,887
		KPI(任意)	
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
0	2	3	3

10. 新たな増養殖企業化検討実証試験事業



所管	水産農林課 水産農林係		
	着手状況 令和2年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）	
国内外において、生食が可能な「養殖サーモン」の需要が伸びている一方で、供給が追いついていない現状にあり、岩内ブランドの事業化を検討するため、令和2年度に関係機関（岩内郡漁業協同組合）と先進地（青森県日本サーモンファーム(株)）を視察。令和3年度においても、関係者（漁業者、農業者、水産加工業者）と先進地（青森県日本サーモンファーム(株)）視察を実施予定である。 事業主体は岩内郡漁業協同組合を予定しているが、孵化稚魚養殖や中間育成などには多額の設備投資が見込まれるため、民間企業の参入・誘致も視野に入れている。 (先進地視察に係る経費については、サポートセンター予算で計上)		R3 決算額	0
		R4 予算額	0
		R4 決算見込額	0
		KPI(任意)	
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
-	-	-	-

11. 洋上風力発電推進事業 (岩宇・南後志地区洋上風力発電導入推進組合 広域連携事業)



所管	企画財政課 地域創生係		
着手状況	令和2年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）	
<p>□岩宇・南後志地区洋上風力発電導入推進協議会（現：岩宇・南後志地区洋上風力発電導入推進組合）への参画・岩宇・南後志地区の6町村3漁協で組織する洋上風力発電設備の導入に向けた協議会を令和2年に発足。現在「既に一定の準備段階に進んでいる区域」として認定され、漁業者等利害関係者との各種調整や系統の確保が課題とされている。</p> <p>・令和3年7月には「洋上風力発電の地域一体的開発に向けた調査研究事業」に、全国3海域のうち当海域が国から選定され、風況調査や海底地盤調査等の各種調査を行った。</p> <p>・令和4年4月には、洋上風力発電導入に向けた国の指定を加速化させるため、「岩宇・南後志地区洋上風力発電導入推進組合」に組織変えし、令和5年1月には、国において洋上風力発電事業を加速化するため、洋上風力発電事業の検討に必要な各種調査を、迅速かつ効率的に実施する運用方針が示されたことから、当組合も国への情報提供を通じて応募したところ、全国3海域のうち当海域も選定され、令和5年度から各種調査が実施されることとなった。</p>		R3決算額	0
		R4予算額	0
		R4決算見込額	0
		KPI(任意)	
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
-	-	-	-

【基本的方向2】 安心して働ける環境の実現

〈5年後の目標（重要業績評価指標：KPI）〉

項目	当初（H30年度）	現状（R3年度）	目標（R6年度）
女性(25～34歳)の紹介就職者数(単位：人)	40	38	50

※紹介就職者数は、常用就職者（フルタイム・パートタイム）とし、4ヶ月未満の臨時的雇用や季節的雇用は含みません。

〈岩内公共職業安定所調べ〉

※女性（25～34歳）の紹介就職者数の目標数値は、総務省の労働力調査による女性の就業者数の増加幅などを考慮し、R2年度から毎年5%程度の増加を目指すものとします。

● 若者と女性の雇用促進

〈概要〉

岩内地域人材開発センターにおいて、岩内地域における認定職業訓練やその他職業訓練等の実施と、地域住民に対する技能講習や講座などを開催し、雇用の促進を図ります。
南しりべし季節労働者年間雇用促進協議会では、季節労働者の年間雇用化を促進するため、各種資格取得に対し、相談や資格取得費の助成など就労支援を行います。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
12. 若者と女性の就労支援 (岩内地域人材開発センター・南しりべし季節労働者年間雇用促進協議会 広域連携事業)	観光経済課 商工振興係

〈各施策の進捗状況〉

12. 若者と女性の就労支援
(岩内地域人材開発センター・

南しりべし季節労働者通年雇用促進協議会 広域連携事業)



所管	観光経済課 商工振興係		
着手状況	過年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）	
<input type="checkbox"/> 若者と女性の雇用促進 ・岩内地域人材開発センターにおいて、岩内地域の在職者や求職者に対し、認定職業訓練やその他職業訓練等を実施することで、 在職者のスキルアップや求職者の再就職支援に繋がっている。 （実績等） ○令和2年度 認定職業訓練 1回、職業訓練（受託） 4回、職業訓練（自主） 9回 計14回 ○令和3年度 // 1回、 // 4回、 // 7回 計12回 ○令和4年度 // 1回、 // 4回、 // 7回 計12回 *見込み ・南しりべし季節労働者通年雇用促進協議会では、季節労働者を対し、各種技能講習、資格取得の助成など実施することで、 季節労働者の通年雇用化に繋がっている。 （実績等） ○令和2年度 技能講習等（国委託） 16回、特別教育・資格取得等（独自） 21回 計37回 ○令和3年度 // 34回、 // 16回 計50回 ○令和4年度 // 29回、 // 22回 計51回 *見込み		R3決算額	4,883
		R4予算額	4,888
		R4決算見込額	4,888
		KPI(任意)	
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
-	-	-	-

● 起業や事業承継の推進

〈概要〉

中心市街地等の空き店舗を活用して事業を行う事業者や団体に対して、貸店舗の家賃や建物の改修費の一部を補助し、起業家や町外からの移住者等の支援をすることで中心市街地等の活性化を促進します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
13. 空き店舗等活用支援事業	観光経済課 商工振興係

〈各施策の進捗状況〉

13. 空き店舗等活用支援事業



所管	観光経済課 商工振興係		
着手状況	平成28年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）	
<input type="checkbox"/> 空き店舗の活用 ・町内の空き店舗や空き家を活用し、新規に事業を行う方に対し、改修費及び家賃の補助を行うことで、 空き店舗の活用促進と地域経済の活性化を図る。 （実績等） ○令和2年度 改修費補助 2件、家賃補助 4件（新規出店者数：2） ○令和3年度 // 4件、 // 6件（新規出店者数：4） ○令和4年度 // 1件、 // 6件（新規出店者数：1） *見込み		R3決算額	3,927
		R4予算額	3,200
		R4決算見込額	1,947
		KPI(任意)	
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
4	4	1	4

基本目標2 つながり築き、新しい人の流れをつくる

【基本的方向1】 移住・定着の促進

〈5年後の目標（重要業績評価指標：KPI）〉

項目	当初（H30年度）	現状（R3年度）	目標（R6年度）
転入者数（単位：人）	380	393	415

※他の市区町村から住所を移した者の数。〈統計名住民基本台帳人口移動報告年報〉

※転入者数の目標数値は、2040年までの22年間で流出入均衡を目指しR2年度から毎年7人程度、転入者数の増加を図るものとします。

● 移住・定住施策の推進

〈概要〉

官民協働による推進体制を整備し、計画的かつ総合的に移住定住の促進を図るため、「（仮称）岩内町移住・定住促進計画」を策定します。計画の体系としては、「仕事」「住まい」「子育て」「移住者支援」「生活インフラ」「情報発信」などを軸に各施策を検討・整理し、定住者に対しては、生活環境や就業など安全・安心に暮らし続けられる施策を進め、移住者に対しては、特に子育て世代や事業承継のUIターン者に対し、本町に魅力を感じ移住する動きを支援する施策を展開します。

地域おこし協力隊については、地域力の担い手となる人材の確保として地域外の人材を積極的に誘致し、地域力の維持・強化に資する活動により地域の活性化や産業振興等を推進します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
14. お試し居住整備事業 （町営住宅空き住戸の活用）	都市整備課 建築係 企画財政課 地域創生係
15. 官民連携の移住・定住促進体制の構築 （〈仮称〉岩内町移住・定住促進計画の策定）	企画財政課 地域創生係
16. 地域おこし協力隊員配置事業（R4.12.31現在 5名）	企画財政課 地域創生係

〈各施策の進捗状況〉

14. お試し居住整備事業（町営住宅空き住戸の活用）



所管	都市整備課 建築係		
	企画財政課	地域創生係	
着手状況	未着手		
今年度（R4）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）		
これまで、事業内容・事業実施に係る制度設計・活用住戸及び全体事業費の検討・活用住戸の内部修繕工事費や備品購入費について関連交付金活用の検討等を行ってきており、策定に向けた調査及び検討を行ってきている。	R3決算額	0	
	R4予算額	0	
	R4決算見込額	0	
	KPI(任意)		
整備戸数（戸）			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
0	0	0	8

15. 官民連携の移住・定住促進体制の構築 (〈仮称〉岩内町移住・定住促進計画の策定)



	所管	企画財政課地域創生係		
	着手状況	R2年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）		
<input type="checkbox"/> 岩内町移住・定住促進計画の策定 ・令和2年度には道内でも移住施策を先進的に行っている2町（上川町・厚真町）への視察を実施。 移住者向けシェアハウスやシェアオフィス、子育て世代向け賃貸住宅等を視察や移住定住促進計画の策定経緯、施策実施の際に活用した交付金（主に社会資本整備総合交付金、地方創生推進交付金、地域づくり総合交付金など）について、伺うことができた。 ・今後は、官民連携のもと、移住定住施策を促進すべく、連携体制の整備に努める。	R3決算額	0		
	R4予算額	0		
	R4決算見込額	0		
	KPI(任意)			
	定住者数			
	H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
	380	393	400	415

16. 地域おこし協力隊員配置事業 (R4.12.31現在 5名)



	所管	企画財政課地域創生係		
	着手状況	H30年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）		
<input type="checkbox"/> 地域おこし協力隊の配置 ・都市圏から地方移住へ興味のある人材を地域おこし協力隊として誘致し、まちの課題となっているミッションに取り組んでもらい起業等を支援することで、移住定住の促進、新たなビジネスの創出による地域経済の活性化を図る。 ・令和2年度には3名の地域おこし協力隊（円山観光ツーリズム、観光協会支援員、サポセン支援員）を配置。 令和3年度には1名の地域おこし協力隊（農業支援員）を配置。 ・既に起業を目指した動きが活発化しており、起業を支援する補助金交付要綱を8月に設定した。（8月末時点で1名交付決定済） ・令和4年度には、初の自己提案型による採用として、1名の美術振興支援員を配置。 ・岩内町と地域おこし協力隊のマッチングを円滑に行うべく、合同会社machisenと委託契約を締結し、協力隊の募集業務を実施。	R3決算額	24,058		
	R4予算額	29,981		
	R4決算見込額	18,621		
	KPI(任意)			
	任期満了後定住率			
	H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
	0	0	0	100

● 学校との連携・協働

〈概要〉

<p>教育事業の評価や学校経営への意見・承認する機能を有する 学校運営協議会に、地域と協働できる機能を拡充させ、学校単体で取り組んでいる「地域に開かれた学校」を総合的に推進します。</p> <p>地域の教育力・教育環境が、移住・定住、人口増減に影響する観点から、町と岩内高等学校、地域が一体となり、岩内高等学校の魅力化プロジェクトに取り組みます。</p> <p>探究の時間での地元企業を知る機会や、地域おこし協力隊・まちづくり活動を実践する人材とのワークショップなどを通じて、キャリア教育・グローバル人材の育成・地元愛を醸成し、地域ならではの学びでUターン増加を目指します。</p>

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
17. コミュニティ・スクール事業（地域に開かれた学校の推進）	教育委員会 生涯学習課
18. 小学生人材育成事業 （岩宇まちづくり連携協議会 広域連携事業）	企画財政課 地域創生係
19. 岩内高等学校との連携・協働事業	企画財政課 地域創生係

〈各施策の進捗状況〉

17. コミュニティ・スクール事業 （地域に開かれた学校の推進）



所管	教育委員会 生涯学習課		
着手状況	R元年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）		
<input type="checkbox"/> 外部人材との連携 ・地域学校協働活動事業や地域団体と連携し、地域団体から外部人材を効率的に派遣してもらう体制をつくるため、子ども未来課（学校教育係）から生涯学習課へ所管換えを行った。 ・学校運営協議会開催（東地区（東小・一中 3回（7月・10月・2月））（西地区（西小・二中 3回（7月・10月・2月））） ・CSの取り組み状況について学校事務職員が中心となりHP等で定期的に情報発信している。	R3決算額	68	
	R4予算額	658	
	R4決算見込額	658	
	KPI(任意)		
会議委員がCSを効果的と認識している割合（％）			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
0	100	100	100

18. 小学生人材育成事業 （岩宇まちづくり連携協議会 広域連携事業）



所管	企画財政課 地域創生係		
着手状況	H28年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）		
<input type="checkbox"/> 岩宇まちづくり連携協議会への参画 ・岩宇4町村が連携して広域でのまちづくりを進める岩宇まちづくり連携協議会へ、平成28年度から参画している。 <input type="checkbox"/> 岩宇子ども交流プログラムの実施 ・岩宇地域の小中学生を対象とし、各地域の特色を活かした体験プログラムを実施。 平成28年度⇒（小学生の部）9/17～18実施 参加者32名（中学生の部）10/11実施 参加者13名 平成29年度⇒（小学生の部）8/8～9実施 参加者58名（中学生の部）7/26～27実施 参加者9名 平成30年度⇒（小学生の部）9/15～16実施 参加者25名（中学生の部）8/8～9実施 参加者30名 令和元年度⇒8/8～9実施 参加者30名 ※小中学生分けずに実施 令和2・3年度⇒新型コロナウイルス感染症の影響から中止 令和4年度⇒（小学生の部）8/5実施 参加者21名	R3決算額	1,120	
	R4予算額	1,900	
	R4決算見込額	1,900	
	KPI(任意)		
-			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
-	-	-	-

19. 岩内高等学校との連携・協働事業



所管	企画財政課 地域創生係
着手状況	H28年度 着手済

今年度（R4）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）			
□地域おこし協力隊とタイアップした授業の実施 ・令和元年度から地域おこし協力隊が自身の活動とまちづくりについて講話する授業を実施。 ・令和3年度からは、岩内高校3年生と地域おこし協力隊員がともにまちづくり活動を行う「総合的な探究の時間（計12コマ）」を実施している。 ・その他、地方創生講演会、地元企業研究会等の授業への参加も行っている。	R3決算額	0		
	R4予算額	0		
	R4決算見込額	0		
	KPI(任意)			
	-			
	H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
	-	-	-	-

【基本的方向2】 つながりの構築

● 関係人口の創出・拡大

〈概要〉

ふるさと納税については、「東京ふる里岩内会」や「岩内高校同窓会」など、町に縁のある方々との関わりを積極的に創出していくとともに、町と事業関係者の思いをひとつに、さらなる連携強化を図りながら、お礼の品の充実や町の魅力発掘に繋げていきます。寄附者の想いを受け止めた使い道について、ポータルサイトや「ふるさと通信」等を通じて情報発信し、町を応援してくれる寄附者との良好な信頼関係を築いていきます。

〈5年後の目標（重要業績評価指標：KPI）〉

項目	当初（H30年度）	現状（R3年度）	目標（R6年度）
ふるさと納税寄附件数（単位：件）	3,624	5,626	8,000
企業版ふるさと納税寄附件数（単位：件）	0	4	10

※ふるさと納税の寄附件数の目標数値は、R6年度までの6年間で約2.2倍とし、R2年度から毎年730件程度の増加を図るものとします。

※企業版ふるさと納税の寄附件数の目標数値は、R2年度からR6年度までの5年間累計で10件を目指すものとします。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
20. ふるさと納税推進事業	観光経済課 産業活動支援係
21. 企業版ふるさと納税推進事業	企画財政課 地域創生係
22. クラウドファンディング事業	企画財政課 地域創生係
23. 岩内出身者との関係強化 （東京ふる里岩内会や岩内高校同窓会との連携・協働事業）	企画財政課 地域創生係

〈各施策の進捗状況〉

20. ふるさと納税推進事業



	所管	観光経済課 産業活動支援係		
	着手状況	H28年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）		
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年7月の機構改革に伴い、ふるさと納税担当者を総務課から観光経済課へ業務を移管 令和3年度より中間事業者を変更 寄附受付サイトの拡充 平成28年度 1サイト 令和3年度 4サイト 返礼品掲載サイトの改修 令和3年度からは、SNSによる情報発信にも着手しており、一定程度の影響を得ている。 新たに解説した観光ホームページとの連携 ウェブ検索連動型広告を実施する。 寄付者へのフォローアップとして、個別にお礼メールを送付している。 返礼品取扱事業者の新規発掘 R3新規返礼品取扱事業者 7者 新規返礼品の追加 R3新規返礼品 79商品 	R3決算額	124,158		
	R4予算額	93,622		
	R4決算見込額	109,405		
	KPI(任意)			
	ふるさと納税寄付件数（件）			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値	
3,624	5,626	6,500	8,000	

21. 企業版ふるさと納税推進事業



	所管	企画財政課 地域創生係		
	着手状況	R2年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）		
<input type="checkbox"/> 企業版ふるさと納税受入体制整備 <ul style="list-style-type: none"> 企業版ふるさと納税の寄附を受け入れるためには、地域再生計画の認定が必要となることから、令和2年3月に認定を受ける。 また、令和2年度には、岩内町企業版ふるさと納税実施要綱の制定やリーフレットの作成、HPへの掲載等、受入体制の整備を行った。 実績としては、令和2年度に1件 500千円の寄附を受領。（学校ICT整備事業へ充当） 令和3年度は、3件合計 2,300千円の寄附を受領。（学校ICT整備事業へ充当、なまこ資源生産基盤強化事業等へ充当） 令和4年度は、現時点で1件100千円 今後は、企業版ふるさと納税ポータルサイトの活用やトップセールスでの周知活動等も視野にいれ、寄附受領件数を増やしていく。 	R3決算額	0		
	R4予算額	0		
	R4決算見込額	0		
	KPI(任意)			
	寄附受領件数			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値	
0	3	4	10	

22. クラウドファンディング事業



	所管	企画財政課 地域創生係		
	着手状況	R2年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）		
<input type="checkbox"/> クラウドファンディング事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> クラウドファンディングについて見識を深めるために、令和2年度に職員向けワークショップを実施。（20名参加） 令和3年度は、町民向けワークショップも実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響から未実施となった。 来年度以降は、地域創生係でプロジェクトの企画または各所管に対する提案を行う。 	R3決算額	0		
	R4予算額	0		
	R4決算見込額	0		
	KPI(任意)			
	プロジェクト件数			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値	
0	0	0	5	

23. 岩内出身者との関係強化 (東京ふる里岩内会や岩内高校同窓会との連携・協働事業)



		所管	企画財政課 地域創生係	
		着手状況	過年度 着手済	
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）		
<input type="checkbox"/> 東京ふる里岩内会会報への記事提供 ・例年発行される東京ふる里岩内会会報へ記事提供を行い、連携を行っている。 <input type="checkbox"/> 岩内高校同窓会との連携 ・令和2年度中に岩内高校開校100周年記念式典を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響から延期の末、令和3年度に中止となった。	R3決算額	0		
	R4予算額	0		
	R4決算見込額	0		
	KPI(任意)			
	-			
	H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
	-	-	-	-

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【基本的方向1】 結婚・出産・子育てしやすい環境の整備

〈5年後の目標（重要業績評価指標：KPI）〉

項目	当初 (H31.4.1)	現状 (R4.4.1)	目標 (R6.4.1)	
			コーホート法推計	住民基本台帳
15歳未満人口 (単位:人)	1,189	1,038	1,002	1,232

※15歳未満人口の目標数値は、R6.4.1までの5年間で43人の増を目指し、毎年9人程度の増加を図るものとし、
 (統計名住民 基本台帳人口移動報告年報)

● 妊娠・出産・子育ての支援

〈概要〉

質の高い教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業を実施するため計画的に基盤整備を行い、教育・保育施設やその他の子ども・子育て支援を行う者が相互に連携しながら地域の実情に応じた取り組みを進めていきます。
 保健センター内に開設した母子健康包括支援センターを拠点に、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない総合的相談支援を提供します。
 また、東山保育所と中央保育所の老朽化に伴い新たな保育所を建設しますが、保護者の保育ニーズを踏まえながら、町の子育て支援を担う基幹的保育所となるよう整備を進めます。
 さらに、新たな保育所には、子育て中の親子が気軽に集い、遊びや育児相談などができる地域子育て支援センターを併設することとし、実施設計・建設工事等を実施します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
24. 母子健康包括支援センター事業	健康づくり課 健康推進係
25. 産前・産後サポート・ケア事業	健康づくり課 健康推進係
26. 育児相談・育児教室事業 (ふれあい教室)	健康づくり課 健康推進係
27. 保育所整備事業	社会福祉課 福祉調整係
28. 地域子育て支援センター整備事業	社会福祉課 福祉調整係
29. 延長保育事業	子ども未来課 子育て支援係
30. 病児保育事業	子ども未来課 子育て支援係
31. 一時預かり事業	子ども未来課 子育て支援係
32. いじめ・不登校対策事業	子ども未来課 学校教育係
33. 学校ICT環境整備事業 (小中学校)	総務・学校整備課 学校整備係
34. 施設一体型義務教育学校導入事業	総務・学校整備課 学校整備係
35. 読書活動推進事業 (絵本館運営、ブックスタート事業の推進)	生涯学習課 生涯学習係
36. 青少年健全育成事業 (スポーツ・文化・わいわいウィークエンド教室など)	生涯学習課 生涯学習係

〈各施策の進捗状況〉

24. 母子健康包括支援センター事業



所管	健康づくり課 健康推進係		
着手状況	R元年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容			
令和元年6月に、保健センター内に母子健康包括支援センターを開設。以前より実施していた育児教室等母子保健事業体系の見直しや、要支援家庭の把握方法等を見直し等を進め、妊娠・出産・育児にかかる切れ目のない支援体制として、産前産後サポート・ケア事業、育児相談・教室等の実施をしている。また、ハイリスク妊産婦など丁寧な対応が必要な場合は、関連部署・機関と連携している。			
事業費の内訳（単位：千円）			
R3決算額		4,759	
R4予算額		15,495	
R4決算見込額		15,495	
KPI(任意)			
-			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
-	-	-	-

25. 産前・産後サポート・ケア事業



所管	健康づくり課 健康推進係		
着手状況	R元年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容			
令和元年度より、産後ケア事業、産前産後サポート事業に取り組んでいる。産後ケア事業では、助産師が出産後の母子がいる家庭に訪問し、母親の心身のケアや育児相談に応じている。令和4年度から、産後うつ早期発見・早期支援を目的に産後ケア利用回数を2回から3回に拡充した。産前産後サポート事業は、デイサービス・集団型とアウトリーチ（訪問）型を実施している。デイサービス・集団型は、妊婦を対象とした「ぶれままくらす」と産婦を対象とした「ままくらす」に分けて実施しており、参加者の聞きたいこと、知りたいことに助産師が答える形で参加者の疑問や不安の軽減に努めてきた。コロナ禍により医療機関から十分な支援が得られず、また、生活制限により体調不良者が増加傾向であり、育児不安がみられていたことを受け、令和4年度より、自身がより自らの健康管理や育児に目が向けられるよう「ぶれままくらす」では歯科衛生士、栄養士による支援、「ままくらす」では授乳期・卒乳記の体の変化や対象法を学ぶ機会を設けた。アウトリーチ（訪問）型は、令和2年度より開始。支援を希望する妊産婦の元に、保育士等の専門職を派遣し、育児の相談や生活の支援を実施している。			
事業費の内訳（単位：千円）			
R3決算額		3,328	
R4予算額		7,728	
R4決算見込額		7,728	
KPI(任意)			
産後十分にケアを受けられたと回答した妊婦の割合（%）			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
87.9	89.8	93.2	100

26. 育児相談・育児教室事業（ふれあい教室）



所管	健康づくり課 健康推進係		
着手状況	R元年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容			
保護者が安心して子育てできること、子どもが健やかに成長できることを目指し、「ふれあい教室」を実施している。生後2か月、4か月、7か月、10か月の乳児とその保護者を対象に、その時期の子どもの成長発達の特徴やそれに合わせた育児についての情報提供を実施。また、参加者間の情報交換を行えるようにしている。			
事業費の内訳（単位：千円）			
R3決算額		10	
R4予算額		59	
R4決算見込額		59	
KPI(任意)			
この地域で今後も子育てしていきたいと回答した割合（%）			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
84.8	81.6	88	100

27. 保育所整備事業



	所管	社会福祉課 福祉調整係		
	着手状況	R2年度 着手済		
<p>今年度（R4）までの具体的な実施内容</p> <p>R2年度に実施設計・地質調査・測量を実施し、R3年度からR4年度にかけて建築主体・電気・機械工事に着手。 R4年度から外構工事の実施、必要備品の購入。R5年度の4月から供用開始予定。</p>	事業費の内訳（単位：千円）			
	R3決算額	373,480		
	R4予算額	492,163		
	R4決算見込額	492,163		
	KPI(任意)			
	出生数（人）			
	H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
	62	57	53	55

28. 地域子育て支援センター整備事業



	所管	社会福祉課 福祉調整係		
	着手状況	R2年度 着手済		
<p>今年度（R4）までの具体的な実施内容</p> <p>新たな保育所に併設して建設を開始しており、具体的実施内容は保育所整備事業と同様。 ※事業費については保育所整備事業で一体的に実施。</p>	事業費の内訳（単位：千円）			
	R3決算額	0		
	R4予算額	0		
	R4決算見込額	0		
	KPI(任意)			
	出生数（人）			
	H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
	62	57	53	55

29. 延長保育事業



	所管	子ども未来課 子育て支援係		
	着手状況	未着手（R6年度着手予定）		
<p>今年度（R4）までの具体的な実施内容</p> <p>※保育士を安定的に確保できる環境を整えることや保護者のニーズと働く保育士の労働環境を考慮し、実現に向けた検討を進めるため、令和6年度に着手予定。</p>	事業費の内訳（単位：千円）			
	R3決算額	0		
	R4予算額	0		
	R4決算見込額	0		
	KPI(任意)			
	出生数（人）			
	H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
	62	57	53	55

30. 病児保育事業



所管	子ども未来課 子育て支援係		
着手状況	未着手 (R6年度着手予定)		
今年度 (R4) までの具体的な実施内容			
【未着手の理由】 本事業は看護師と保育士のそれぞれの配置が必要であることや現在、建設中の保育所等の施設内の配置では特定財源が確保できないため、令和5年度からの実施を見送り、今後、医療機関への委託方法も含め、継続して検討するため。			
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額			0
R4 予算額			0
R4 決算見込額			0
KPI(任意)			
出生数 (人)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
62	57	53	55

31. 一時預かり事業



所管	子ども未来課 子育て支援係		
着手状況	未着手 (R5年度着手予定)		
今年度 (R4) までの具体的な実施内容			
【未着手の理由】 保護者のニーズと働く保育士の労働環境も考慮しながら、令和5年度「新地域子育て支援センター」の供用開始に合わせ、実施予定。 令和5年度に向け、他町村の一時預かり事業を参考に利用料金や事業内容を検討。			
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額			0
R4 予算額			0
R4 決算見込額			0
KPI(任意)			
出生数 (人)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
62	57	53	55

32. いじめ・不登校対策事業



所管	子ども未来課 学校教育係		
着手状況	R2年度 着手済		
今年度 (R4) までの具体的な実施内容			
[R2~] □スクールソーシャルワーカー配置に向けた人材の選定 →選定作業は行ったが、候補者の目処は立っていない。R3以降も継続して選定作業を行う。 □関係機関及び既存の会議体との接続に係るニーズ調査 →スクールカウンセラーは学校間、学校は幼保小間、教委は外部機関との調整役を担い、それぞれが接続ニーズを把握し関係機関で相互接続できるよう取り組んだ。			
[R3~] □スクールソーシャルワーカー配置 →候補者の選定が出来ていないため、配置に至っていない。継続して選定作業中			
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額			0
R4 予算額			0
R4 決算見込額			0
KPI(任意)			
いじめ認知件数のうち、 解消しているものの割合 (%)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
-	100	100	100

3.3. 学校ICT環境整備事業（小中学校）



所管	総務・学校整備課 学校整備係		
着手状況	R2年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容			
事業費の内訳（単位：千円）			
R3決算額	11,852		
R4予算額	0		
R4決算見込額	0		
KPI(任意)			
ICTを用いた授業の実施率（%）			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
0	30	50	100

3.4. 施設一体型義務教育学校導入事業



所管	総務・学校整備課 学校整備係		
着手状況	H31年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容			
事業費の内訳（単位：千円）			
R3決算額	34,562		
R4予算額	163,449		
R4決算見込額	163,449		
KPI(任意)			
-			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
-	-	-	-

3.5. 読書活動推進事業

（絵本館運営、ブックスタート事業の推進）



所管	生涯学習課 生涯学習係		
着手状況	過年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容			
事業費の内訳（単位：千円）			
R3決算額	893		
R4予算額	1,278		
R4決算見込額	1,278		
KPI(任意)			
絵本館利用者数（人）			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
1,432	1,200	1,500	2,500

36. 青少年健全育成事業 (スポーツ・文化・わいわいウィークエンド教室など)



所管	生涯学習課 生涯学習係		
着手状況	過年度 着手済		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額	979		
R4 予算額	1,916		
R4 決算見込額	1,916		
KPI(任意)			
各種事業の参加者人数 (人)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
4,485	2,100	2,500	4,500

今年度 (R4) までの具体的な実施内容			
<p>□スポーツ・文化教室の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の学習機会としてスポーツ・文化の4教室を開催し、技術・技能の向上を図っている。 ・書道教室 (毎週水曜日) 受講者【R2】19人 【R3】21人 【R4】25人 ・剣道教室 (毎週火曜日、隔週金曜日) 受講者【R2】29人 【R3】22人 【R4】16人 ・空手教室 (毎週月曜日、隔週金曜日) 受講者【R2】39人 【R3】39人 【R4】24人 ・卓球教室 (毎週月曜日) 受講者【R2】5人 【R3】3人 【R4】3人 <p>□わいわいウィークエンド教室の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。R3年度は「文化センターサークル体験」をはじめとした3プログラムを実施。R4年度は「親子料理教室」をはじめとした7プログラムを実施予定 <p>□子ども会への加入者増加策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化により子ども会への加入者は減少傾向であるが、岩内町子ども会育成連絡協議会と連携し「わいわいウィークエンド教室」や「子ども会カルタ大会」を開催し (R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)、活気ある事業を実施している。 			

● 出産や子育ての経済的負担の軽減

〈概要〉

子育てしやすい環境の整備には、妊娠・出産期からの各種健診等事業をスタートとして、子どものライフステージに応じた切れ目のないサービス提供と、関係機関等が情報共有し支援することが重要です。子ども及びその保護者が必要とするサービスを円滑に利用できるよう支援を行うとともに、良質で適切な保育等の子ども・子育て支援が、総合的かつ効率的に提供できるよう努めます。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
37. 特定不妊治療費助成事業	健康づくり課 健康推進係
38. 妊婦健康診査通院交通費助成事業	健康づくり課 健康推進係
39. 任意予防接種助成事業 (インフルエンザ・おたふくかぜ)	健康づくり課 健康推進係
40. 出産祝金給付事業 (第3子以降の出産祝金)	社会福祉課 福祉調整係
41. 多子世帯子育て支援事業 (第3子以降の小・中・高・大学等の進学時の支援金)	社会福祉課 福祉調整係
42. 子育て世帯定住支援事業 (移住・若年・子育て世帯に特化した中古住宅取得補助金)	都市整備課 建築係

〈各施策の進捗状況〉

37. 特定不妊治療費助成事業



所管	健康づくり課 健康推進係		
着手状況	未着手 (着手時期未定)		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額	0		
R4 予算額	0		
R4 決算見込額	0		
KPI(任意)			
-			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
-	-	-	-

今年度 (R4) までの具体的な実施内容			
<p>【未着手の理由】</p> <p>令和4年4月より、一部治療が保険適用となったことから、道で実施している補助等についても、年度をまたいだものだけを対象としている。</p>			

38. 妊婦健康診査通院交通費助成事業



所管	健康づくり課 健康推進係		
着手状況	H27年度 着手済		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額	1,542		
R4 予算額	1,883		
R4 決算見込額	1,883		
KPI(任意)			
妊娠届出数 (件)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
65	51	60	55

39. 任意予防接種助成事業 (インフルエンザ・おたふくかぜ)



所管	健康づくり課 健康推進係		
着手状況	R3年度 着手済		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額	116		
R4 予算額	228		
R4 決算見込額	228		
KPI(任意)			
-			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
-	-	-	-

40. 出産祝金給付事業 (第3子以降の出産祝金)



所管	社会福祉課 福祉調整係		
着手状況	未着手 (着手時期未定)		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額	0		
R4 予算額	0		
R4 決算見込額	0		
KPI(任意)			
出生数 (人)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
65	57	53	55

4.1. 多子世帯子育て支援事業 (第3子以降の小・中・高・大学等の進学時の支援金)



	所管	社会福祉課 福祉調整係		
	着手状況	未着手(着手時期未定)		
今年度(R4)までの具体的な実施内容		事業費の内訳(単位:千円)		
【未着手の理由】 R4年度に制度内容を整理・検討	R3決算額		0	
	R4予算額		0	
	R4決算見込額		0	
	KPI(任意)			
	出生数(人)			
	H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
	62	57	53	55

4.1. 子育て世帯定住支援事業 (移住・定住・子育て世帯に特化した中古住宅取得補助金)



	所管	都市整備課 建築係		
	着手状況	H29年度 着手済		
今年度(R4)までの具体的な実施内容		事業費の内訳(単位:千円)		
H29年より中古住宅取得補助金を実施しており、これまでは、移住者・子育て世帯についてのみの対象では無く、該当した場合は補助金の上乗せを行っていたが、今年度からは補助金対象者を移住者・子育て世帯のみとした中古住宅取得補助金を実施している。	R3決算額		0	
	R4予算額		2,900	
	R4決算見込額		2,900	
	KPI(任意)			
	補助件数(件)			
	H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
	3	0	6	15

【基本的方向2】 若者の暮らしを支援する

〈5年後の目標（重要業績評価指標：KPI）〉

項目	当初（H30年度）	現状（R3年度）	目標（R6年度）
婚姻件数（単位：組）	50	39	55

※婚姻件数の目標数値は、現状維持・微増を目標とし、毎年度55組程度の件数を維持するものとします。

● 'ワーク・ライフ・バランスの促進、若者の交流・結婚活動に対する支援

〈概要〉

結婚を希望するも出会いの場がなく結婚できない若者を支援するため、町が婚活中の方の情報や相手方求める要件をシステム管理しマッチングを行う出会いの場の提供について検討します。
また、広域的な実施を視野に入れるなど、より効果的な実施方法について検討します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
4.3. 結婚活動マッチング事業	社会福祉課 福祉調整係

〈各施策の進捗状況〉

4.3. 結婚活動マッチング事業



所管	社会福祉課 福祉調整係		
	着手状況		
未着手（着手時期未定）			
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）	
【未着手の理由】 R2年度に制限内容を整理し、具体的な検討を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、不特定多数者が集まるイベントの実施が困難であるため、引き続き検討事項とする。		R3 決算額	0
		R4 予算額	0
		R4 決算見込額	0
		KPI(任意)	
本事業を活用した者の結婚件数（件）			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
0	0	0	15

基本目標4 ひとが集う、安全・安心な暮らしを守る

【基本的方向1】 活力を生み、安心な生活を実現する環境の充実

〈5年後の目標（重要業績評価指標：KPI）〉

項目	当初（H30年度）	現状（R3年度）	目標（R6年度）
観光入込客数（単位：人）	376,600	190,386	500,000

※観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値。〈統計名観光入込客統計〉

※観光入込客数の目標数値は、R6年度までの6年間で約1.3倍とし、R2年度から毎年20,600人程度の増加を図るものとします。

● 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実

〈概要〉

高齢者や障がい者などの町内移動のための「ノッタライン」や、円山地域住民の利便性向上や観光振興等を図るため「円山地域乗合タクシー」の実証運行を実施し本格運行を目指すなど、まちづくりや地域活性化、安全・安心な暮らしにつながる「持続可能な地域公共交通」を推進します。
岩内で生まれ育ち、岩内を描いた、北海道を代表する画家・木田金次郎の画業を様々な企画展などを通じて発信します。また、「絵の町・岩内」として、絵を描く人・観る人が多いという本町の特性を活かし、町民が誇りに思える文化事業を展開します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
44. 町の情報発信の充実	総務課 情報化推進担当
45. 紙リサイクル化事業（雑紙）	町民生活課 生活環境係
46. ふれあいごみ収集事業（高齢者等個別収集）	町民生活課 生活環境係
47. 地域公共交通推進事業 （ノッタライン・円山地域乗合タクシー、地域公共交通網形成計画の改訂）	町民生活課 生活環境係 企画財政課 地域創生係
48. 木田金次郎美術館運営事業	生涯学習課 生涯学習係 （美術館・郷土館担当）
49. 岩内町郷土館運営事業	生涯学習課 生涯学習係 （美術館・郷土館担当）
50. 町民生涯学習事業（町民大学講座、大学公開講座など）	生涯学習課 生涯学習係

〈各施策の進捗状況〉

4.4. 町の情報発信の充実



所管	総務課 情報化推進担当			
着手状況	R3年度 着手済			
事業費の内訳 (単位: 千円)				
R3 決算額	8,427			
R4 予算額	8,898			
R4 決算見込額	8,898			
KPI(任意)				
SNSフォロワー数 (人)				
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値	
0	0	1,200	5,000	

今年度 (R4) までの具体的な実施内容

- ・令和3年4月12日より、町HPに、首長の挨拶および自治体行政に関する考え方を町民に向けて発信する目的で「町長専用ページ」を開設し、情報発信の充実を図った。
- ・令和3年4月13日より、町HP内の観光情報をまとめた「観光ポータルサイト」を開設し、これまで閲覧・検索しにくかった情報の一元化により、情報発信の充実を図った。
- ・町公式SNSの構築については、観光課においてLINE公式アカウントをはじめ、令和4年10月5日現在で、友だち登録者1,110人となっており、令和5年度より広報係に引き継ぐ予定となっている。

4.5. 紙リサイクル事業 (雑紙)



所管	町民生活課 生活環境係			
着手状況	未着手 (着手時期未定)			
事業費の内訳 (単位: 千円)				
R3 決算額	0			
R4 予算額	0			
R4 決算見込額	0			
KPI(任意)				
雑誌排出量 (トン)				
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値	
0	0	0	90	

今年度 (R4) までの具体的な実施内容

【未着手の理由】
収集した紙類等を一次保管する場所の確保。
また、プラスチック製品一括回収も含めた、資源物全体の収集体制検討も必要であり、ハード面・ソフト面の課題が未解決のため。

4.6. ふれあいごみ収集事業 (高齢者等個別収集)



所管	町民生活課 生活環境係			
着手状況	未着手 (着手時期未定)			
事業費の内訳 (単位: 千円)				
R3 決算額	0			
R4 予算額	0			
R4 決算見込額	0			
KPI(任意)				
収集件数 (件)				
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値	
0	0	0	100	

今年度 (R4) までの具体的な実施内容

【未着手の理由】
一般ごみ及び資源物収集の体制の課題、特に紙類とプラスチック製品の一括回収に課題があり、ふれあいごみ収集の制度設計にあたり収集内容、範囲等の検討に影響を及ぼしているため。

4 7. 地域公共交通推進事業（①ノッタライン）



今年度（R4）までの具体的な実施内容	所管	町民生活課 生活環境係		
	着手状況	H28年度 着手済		
<p>□ノッタライン運行事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわない循環バス「ノッタライン」は平成28年度より本格運行し、現在では町民の足として定着している。 ・年々乗車人員も増加しており、令和元年度には、実績として最高となる総乗車人員42,540人、5,760千円の運賃収入となった。 ・令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、乗車人員及び運賃収入が大幅に減少したが、今後も町民の重要な移動手段としての役割を担う。 ・運行経費については、運転手等の人件費向上等により年々増加傾向にあり、令和3年度の町補助額は11,112千円。 ・令和3年4月1日より、利用者が僅少な便である土曜日と祝祭日の1便と8便を連休とし、年末年始においては特別ダイヤにて運行をすることによって経費の抑制。持続可能な公共交通の確保に努める。 ・令和3年8月1日より、運転免許証自主返納者への無料乗車券・回数券交付事業を開始し、新規利用者開拓と利用促進に取り組み、累計35件の申請受付。 	事業費の内訳（単位：千円）			
	R3決算額	11,112		
	R4予算額	12,786		
	R4決算見込額	12,786		
	KPI(任意)			
	経費全体に占める運賃収入の割合 (%)			
	年間乗車人員 (人)			
	H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
	23.2	23.5	20.3	25
	39,184	35,760	33,236	45,000

4 7. 地域公共交通推進事業（②円山地域乗合タクシー）



今年度（R4）までの具体的な実施内容	所管	町民生活課 生活環境係		
	着手状況	R2年度 着手済		
<p>□円山地域乗合タクシー実証運行事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通の空白地帯である円山地域の交通不便地域の解消を目的として、令和2年6月から実証運行を開始。 ・実証運行開始当初より、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外出自粛要請の利用控えが見られ、本来のデータが得られないことから令和3年度も実証運行を継続。 ・交通空白地帯の解消、利用者の自立支援・健康増進及び円山地域の観光推進のため令和5年度の本格運行を目指す。 ・令和3年8月1日より、運転免許証自主返納者への無料乗車券・回数券交付事業を開始し、新規利用者開拓と利用促進に取り組み、累計35件の申請受付。 ・令和3年度利用実績は、大人5,066人、子ども15人、障がい者1,264人、計6,345人。 ・令和4年度は、事業の継続性や費用対効果等を勘案し、週5日・1日3便での実証運行を実施。 	事業費の内訳（単位：千円）			
	R3決算額	7,397		
	R4予算額	4,824		
	R4決算見込額	4,824		
	KPI(任意)			
	年間乗車人員 (人)			
	H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
	0	6,345	5,218	6,500

4 7. 地域公共交通推進事業（③地域公共交通計画）



今年度（R4）までの具体的な実施内容	所管	企画財政課 地域創生係		
	着手状況	R2年度 着手済		
<p>□地域公共交通計画の策定</p> <p>地域の輸送資源を総動員し、地域自らがデザインする公共交通の実現を目指した「岩内町地域公共交通計画」を令和3年3月に策定した。</p>	事業費の内訳（単位：千円）			
	R3決算額	0		
	R4予算額	0		
	R4決算見込額	0		
	KPI(任意)			
	-			
	H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
	-	-	-	-

48. 木田金次郎美術館運営事業



所管	生涯学習課 生涯学習係 (美術館・郷土館担当)		
着手状況	H6年度 着手済		
今年度(R4)までの具体的な実施内容			
事業費の内訳(単位:千円)			
R3決算額	21,156		
R4予算額	23,556		
R4決算見込額	24,660		
KPI(任意)			
-			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
-	-	-	-

49. 岩内町郷土館運営事業



所管	生涯学習課 生涯学習係 (美術館・郷土館担当)		
着手状況	H21年度 着手済		
今年度(R4)までの具体的な実施内容			
事業費の内訳(単位:千円)			
R3決算額	4,392		
R4予算額	4,810		
R4決算見込額	4,342		
KPI(任意)			
-			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
-	-	-	-

50. 町民生涯学習事業(町民大学講座、大学公開講座など)



所管	生涯学習課 生涯学習係		
着手状況	過年度 着手済		
今年度(R4)までの具体的な実施内容			
事業費の内訳(単位:千円)			
R3決算額	6		
R4予算額	106		
R4決算見込額	106		
KPI(任意)			
各種事業の参加者数(人)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
4,485	233	500	4,500

□多世代それぞれのニーズに対応した学習機会の提供(町民大学講座、大学公開講座等の充実)

【町民大学講座】
成人や高齢者への学習機会を提供するため、生活・文化等に関する各種講座を開催し、自己研鑽と交流を図っている。
R2:「町内研修「木田金次郎美術館特別展示見学」」「岩内町の昭和試写会」を実施(10プログラム予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2プログラム実施)
R3:フロアカーリング体験をはじめ5プログラムを実施
R4:防災訓練をはじめ8プログラムを実施予定

【大学公開講座の実施】
R2/R3:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
R4:小樽商科大学と連携して実施予定。

【寿趣味学級の開催】
詩吟教室・カラオケ教室の2講座を開催

【家庭教育講座の実施】
R3:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
R4:子育て世代の親を対象にした講座を実施予定。

● 地域資源を活かした個性あふれる地域の形成

〈概要〉

道の駅とその周辺地域の再整備や、各観光施設や商店街などと連動した取り組みについて「道の駅検討会」の開催などを通じて検討を行います。また、岩宇DMOの組織化に向けた検討を進め、令和3年度の本格稼働を目指します。
 「含翠園」を地域資源として掘り起こし、歴史的文化的価値を明確にし、樹木、池などの庭園や茶室の付加価値を高め、体験交流のできる場として味わいのある空間を創出できるよう整備を行い、更に住民の憩いの場としても愛され、利用される施設に再生します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
5 1. 道の駅機能強化事業	観光経済課 観光係
5 2. 観光客受入体制整備事業	観光経済課 観光係
5 3. 岩宇DMO設立・運営事業 (岩宇まちづくり連携事業 広域連携事業)	観光経済課 産業活動支援係
5 4. クルーズ振興推進事業	観光経済課 観光係
5 5. 日本夜景遺産推進事業	観光経済課 観光係
5 6. 含翠園改修事業	建設課 土木係
5 7. 北海道日本ハムファイターズパートナー協定事業	企画財政課 地域創生係

〈各施策の進捗状況〉

5 1. 道の駅機能強化事業



今年度（R4）までの具体的な実施内容	所管	観光経済課 観光係		
	着手状況	H27年度 着手済		
これまで計4回の道の駅検討会を開催し、関係機関との化検討を進めてきており、今年度においても、国等の事業を活用しつつ、道の駅の再生について検討を進めていく。	事業費の内訳（単位：千円）			
	R3決算額	0		
	R4予算額	0		
	R4決算見込額	0		
	KPI(任意)			
	道の駅年間訪問者数(人)			
	H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
	97,799	65,882	90,000	120,000

52. 観光客受入体制整備事業



所管	観光経済課 観光係		
着手状況	H31年度 着手済		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額			0
R4 予算額			0
R4 決算見込額			0
KPI(任意)			
円山エリア宿泊者数(人)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
42,214	33,199	35,000	50,000

今年度(R4)までの具体的な実施内容
平成30年に円山展望台からの展望が日本夜景遺産に認定されたことを契機に、誰もが安心して滞在できる観光地域づくりを進めていくため、円山周辺の看板整備をはじめ、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、道の駅前広場空間の改善、三十三観音像多言語看板の設置、および観光専用ポータルサイトの導入などにより、ポストコロナを見据えた体制整備を行った。

53. 岩宇DMO設立・運営事業 (岩宇まちづくり連携事業 広域連携事業)



所管	観光経済課 観光係		
着手状況	H28年度 着手済		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額			0
R4 予算額			0
R4 決算見込額			0
KPI(任意)			
-			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
-	-	-	-

今年度(R4)までの具体的な実施内容
<ul style="list-style-type: none"> 各町村のキーマンを交えた検討会議の設置 体験プログラムの開発、モニターツアーの実線 先進地視察、地域コンセンサスの醸成 令和3年度においては、地域全体の合意形成を確立させたいと、DMOを本格稼働させるための事業計画案を作成する。 岩宇を訪れた方を対象としたアンケート調査を実施し、データ収集と分析を行う。 令和4年度については、岩宇DMO設立準備室設置を目標としたスケジュールを策定。

54. クルーズ振興推進事業



所管	観光経済課 観光係		
着手状況	H31年度 着手済		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額			0
R4 予算額			0
R4 決算見込額			0
KPI(任意)			
クルーズ船受入数(隻)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
0	0	0	2

今年度(R4)までの具体的な実施内容
令和元年10月に大型クルーズ船「ばしふいっくびいなす」の岩内初寄港を契機に、クルーズ船誘致を推進する体制整備を進める予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大による大型クルーズ船クラスター事例の発生等の影響により、誘致活動等を推進することができなかった。新型コロナウイルス感染症の収束後に誘致活動等を再開できるよう準備を進める。

55. 日本夜景遺産推進事業



所管	観光経済課 観光係		
着手状況	H31年度 着手済		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額	1,498		
R4 予算額	1,500		
R4 決算見込額	1,500		
KPI(任意)			
道の駅年間訪問者数(人)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
97,799	65,882	90,000	120,000

今年度(R4)までの具体的な実施内容
平成30年に円山展望台からの夜景が日本夜景遺産に認定されたことを契機とし、平成31年度より各種記念事業を実施したが、令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度においては、各種記念事業の実施を見送った。 令和4年度については、本事業最終年度であるため、これまで取り組んできた成果を広く周知することを目的としてLINE公式アカウントを活用したプロモーションを実施することで、岩内町の新たな観光資源としての付加価値を高め、「岩内町の夜景」のブランド化を促し、国内外の観光客誘致による町の活性化へ繋げる。

56. 含翠園改修事業



所管	建設課 土木係		
着手状況	H31年度 着手済		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額	46,033		
R4 予算額	137,700		
R4 決算見込額	124,630		
KPI(任意)			
年間来園者数(人)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
180	0	0	5,300

今年度(R4)までの具体的な実施内容
H31年度に基本設計業務 R2年度に実施設計業務 R3年度に用地買収、庭園一部の工事着手、附属建物詳細設計業務 R4年度に庭園部工事、既存建物耐震・詳細設計業務

57. 北海道日本ハムファイターズパートナー協定事業



所管	企画財政課 地域創生係		
着手状況	R2年度 着手済		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額	0		
R4 予算額	0		
R4 決算見込額	0		
KPI(任意)			
-			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
-	-	-	-

今年度(R4)までの具体的な実施内容
□北海道日本ハムファイターズとの連携 プロ野球チーム北海道日本ハムファイターズと連携し、まちづくりを推進するため、令和2年度に協定を締結する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、協定締結は延期となり再開は未定であった。 令和4年度中において、協定締結事業が令和6年度から再開されることとなったが、協定に係る費用が高額であることが判明したため、令和6年度の協定締結は検討中。

【基本的方向2】 安心して暮らすことができるまちづくり

〈5年後の目標（重要業績評価指標：KPI）〉

項目	当初（H30年度）	現状（R3年度）	目標（R6年度）
健康寿命の延伸	男性：77.5歳 女性：80.3歳	男性：77.7歳 女性：80.9歳	男性：78.4歳 女性：81.2歳

※国の「健康寿命」の指標は、国民生活基礎調査を基に算定する「日常生活に制限のない期間」を用いているが、3年に一度の算出となることから、毎年・自治体毎の算定には補完指標として「国保データベースシステムKDB」の指標を参考とする。

● 医療・介護・生活支援・介護予防等の機能の確保

〈概要〉

高齢者は複数の慢性疾患に加え、認知機能や社会的なつながりが低下するいわゆるフレイル状態になりやすいなど、疾病予防と生活機能維持の両面にわたるニーズを有していることから、国保データベースシステムを活用した健康課題の分析・対象者を把握し、重症化予防の取組を進めるほか、通いの場や地域との交流・地域活動への参加を奨励し、地域住民の健康寿命の延伸を図ります。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
58. 生活習慣病の重症化予防の徹底 (国民健康保険特定健診の受診率向上、保健指導)	健康づくり課 医療保険係
59. がん検診の受診率向上対策	健康づくり課 健康推進係
60. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 (在宅療養対策(重症化予防)、虚弱(フレイル)予防対策)	健康づくり課 医療保険係
61. 高齢者の集い・通いの場の確保(高齢者サロン)	長寿介護課 高齢者福祉係
62. 地域の医師体制の維持・確保	健康づくり課 医療保険係
63. 在宅高齢者介護用品購入費助成事業	長寿介護課 介護保険係

〈各施策の進捗状況〉

58. 生活習慣病の重症化予防の徹底 (国民健康保険特定健診の受診率向上、保健指導)



所管	健康づくり課 医療保険係
着手状況	R元年度 着手済

今年度（R4）までの具体的な実施内容	事業費の内訳（単位：千円）			
□特定健康診査の受診率向上対策 ・特定健康診査の受診率を向上させることによって、生活習慣病の発症及び重症化の予防や、疾病の早期発見及び治療を目指すことにより、町民が元気に住み続けられるために健康意識の向上を図る。 ・従前より実施している翌年度の受診自動予約や節目年齢（40歳・45歳・50歳・55歳）の受診無料化、令和元年度から開始した北海道国民健康保険団体連合会及び（株）キャンサーズキャンとの連携による、人工知能を活用した対象者の行動分析に基づく個別受診勧奨により、着実に受診率が向上しているところである。 ・令和2年度からは、いわないポイントカード会と連携を行い、保健師や栄養士から受診結果の説明を受けた方へ対し「たら丸カードポイント3,000円分」を付与する事業を開始。令和4年度からは、継続した受診へ繋げるため、2年連続の受診者に対し「たら丸カードポイント6,000円分」を付与する。 ・さらに、特定保健指導を受けた方に対しては減塩食品、指導により血圧や腹囲などの自己設定目標を達成した方に対しては満点たら丸カードを贈るなど、町民が自主的に健康づくりに取り組むような方策を図っている。 ・引き続き、受診率の目標数値を達成するため、医療機関からの情報提供拡充や不定期受診者の受診習慣化に向けた施策を検討している。	R3決算額	10,306		
	R4予算額	10,722		
	R4決算見込額	10,772		
	KPI(任意)			
	国民健康保険特定健診受診率(%)			
	H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
	34.3	34.9	37.9	60

59. がん検診の受診率向上対策



所管	健康づくり課 健康推進係		
着手状況	H28年度 着手済		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額	8,131		
R4 予算額	9,821		
R4 決算見込額	9,821		
KPI(任意)			
受診率(胃・大腸・肺) (%) 受診率(子宮・乳) (%)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
11.7	12.1	14	40
17.9	15.5	16.6	50

今年度(R4)までの具体的な実施内容
<p>がん検診の早期発見のため、集団検診および個別検診を実施。 受診率向上のため、検診対象者には個別通知を実施し、さらに重点年齢を設定して無料クーポン券の発券や再勧奨を行っている。 また、令和4年度からは若内町国民健康保険加入者が胃・肺・大腸がん検診を受診する際の自己負担額を下げた。</p>

60. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 (在宅療養対策(重症化予防)、虚弱(フレイル) 予防対策)



所管	健康づくり課 医療保険係		
着手状況	未着手 (R5着手予定)		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額	0		
R4 予算額	0		
R4 決算見込額	0		
KPI(任意)			
健康寿命(男性/女性) (歳)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
77.5	77.7	77.7	78.4
80.3	80.9	81.2	81.2

今年度(R4)までの具体的な実施内容
<p>・事業の実施に当たっては、専門職である保健師の配置が必要であるが、退職などにより人員の確保が困難となっている。 ・また、新型コロナウイルスの感染拡大によって、高齢者の通いの場となる行事を開催することも難しい状況である。 ・今後は、すでに実施している事業の活用や、現行の体制においても実施可能な事業を検討しながら、着手を目指していく。</p>

61. 高齢者の集い・通いの場の確保(高齢者サロン)



所管	健康づくり課 高齢者福祉係		
着手状況	R2年度に着手		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額	0		
R4 予算額	0		
R4 決算見込額	0		
KPI(任意)			
高齢者の集い・通いの場の開催回数(回)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
0	0	1	5

今年度(R4)までの具体的な実施内容
<p>□高齢者の通いの場の確保に向けた支援の実施 ・高齢者が住み慣れた地域で生き生きと過ごすことができるように、高齢者が集い通う場所「高齢者サロン」の確保に向けた支援に努める。 ・令和3年12月、地域おこし協力隊員が、介護予防運動サロン「fitnessCoCo憩エール」をプレオープン。町内高齢者及びミドル世代をターゲットに、介護予防に資する事業をスタートした。 現在は、知名度の向上に向けさまざまな形で施設の周知や、町の委託業務を活用して地域おこし協力隊員を自主的なサークルへ講師として派遣するなど、活動を応援している。 ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で行動が制限されるなか、憩エールが通いの場としての機能を果たすことはできなかったが、令和4年度においては、町包括支援センターの協力のもと、試験的に「認知症カフェ」を開催し、通いの場としての第一歩を踏み出すための調整中。 ・令和5年度以降においても、認知症カフェの他、通いの場としても活用できるようなイベントを開催していくとともに、本業である介護予防運動サロンが安定的に経営していけるように支援を継続していく。</p>

62. 地域の医師体制の維持・確保



所管	健康づくり課 医療保険係		
着手状況	H22年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容			
事業費の内訳（単位：千円）			
R3決算額	42,000		
R4予算額	42,000		
R4決算見込額	42,000		
KPI(任意)			
-			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
-	-	-	-

□岩宇地域における救急医療体制の確保
 ・岩内協会病院は24時間・365日の救急医療を担う「岩宇地域唯一の病院」であるが、慢性的な常勤医師の不足による診療科の休廃止や、非常勤医師の配置による医業費用の増加によって、経営の逼迫を招いている。
 ・救急及び小児医療体制を確保するため、岩宇4町村で経営支援のための補助を実施しており、令和2年度は合計5,000万円（うち岩内町分は3,500万円）の支出を行った。
 ・令和3年度からは、新型コロナウイルス流行の影響により、さらに赤字が拡大したことなどから合計6,000万円（うち岩内町分は4,200万円）の支援を実施している。
 ・病院側から夜間救急の休止に関する申出を受けたこと、さらには原子力災害医療活動実施要領に定める原子力災害医療協力機関としての役割を果たすため、今後は金銭的な支援に加え、北海道など関係機関へ常勤医師の確保に向けた要望などを岩宇4町村で実施していく見込みである。

63. 在宅高齢者介護用品購入費助成事業



所管	長寿介護課 介護保険係		
着手状況	H30年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容			
事業費の内訳（単位：千円）			
R3決算額	480		
R4予算額	618		
R4決算見込額	600		
KPI(任意)			
-			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
-	-	-	-

□在宅高齢者に対する介護用品購入費の一部を助成
 ・要介護度の高い在宅高齢者が使用する介護用品の購入費の一部を助成することで、介護を必要とする者に対し経済的負担の軽減と在宅生活の継続及び向上を図る。
 ・平成28年度から「在宅高齢者紙おむつ購入費助成事業」賭して実施を開始したが、平成30年度以降は、在宅高齢者の生活に必要な介護用品の実態に合わせて、「在宅高齢者介護用品購入費助成事業」として紙おむつ以外にも清拭用品やドライシャンプー等を対象品目に追加して実施している。
 ・申請期間を4か月おきに設け、各申請期間において24,000円を上限に対象介護用品購入費の9割を助成している。
 ・令和3年度の給付実績は25件であり、微増傾向にある。令和4年度は19件に給付している。

● 地域防災・地域の交通安全の確保

〈概要〉

災害時において、避難所に必要な最低限の電力を確保するための非常用発電機（固定設置又は可搬型）の整備を進めます。また、食料や水などの防災備蓄品の必要数確保のほか、民間業者等との災害時支援協定の拡充により、防災体制の充実を図ります。
 LED防犯街路灯を設置又はLED防犯街路灯に改良する団体等に、設置費の一部を補助しLED化を推進します。

〈主要施策一覧〉

事業名	担当課
64. 自主防災組織・人材育成事業	危機管理課 危機管理係
65. 避難所機能強化事業	危機管理課 危機管理係
66. 緊急時給水拠点確保等事業（配水管の耐震化）	施設課 技術係
67. 防犯カメラ設置費助成事業	町民生活課 生活環境係
68. 防犯街路灯（LED化）設置費助成事業	町民生活課 生活環境係
69. 通学路安全対策事業	子ども未来課 学校教育係

〈各施策の進捗状況〉

64. 自主防災組織・人材育成事業



所管	危機管理課 危機管理係		
着手状況	未着手		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）	
【未着手の理由】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、説明会等の実施に至れてないため。		R3 決算額	0
		R4 予算額	0
		R4 決算見込額	0
		KPI(任意)	
自主防災組織数（団体）			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
0	0	0	20

65. 避難所機能強化事業



所管	危機管理課 危機管理係		
着手状況	R元年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）	
<ul style="list-style-type: none"> 非常用発電機購入 R元 2台（2箇所） R2 2台（2箇所） R3 1台（1箇所） R4 1台（1箇所）予定 災害支援協定 R元 4件 R3 4件 R4 2件 		R3 決算額	375
		R4 予算額	402
		R4 決算見込額	402
		KPI(任意)	
非常用発電機のある避難所（箇所） 災害時支援協定数（道経由含む） （件）			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
3	8	9	13
85	93	95	90

66. 緊急時給水拠点確保等事業（配水管の耐震化）



所管	施設課 技術係		
着手状況	H19年度 着手済		
今年度（R4）までの具体的な実施内容		事業費の内訳（単位：千円）	
<input type="checkbox"/> 重要給水施設配水管の耐震化 ・岩内町地域防災計画上の指定緊急避難所、指定避難所、災害対策本部となる役場庁舎、基幹医療施設及び、透析医療機関を加えた計18施設を緊急時給水拠点とし、地震などの災害時においても可能な限り水の供給を維持できるよう、各施設までの配水管の耐震化を図る。 ・配水管の耐震化事業は、平成19年度から着手しており、令和2年度末で9施設までの配水管の耐震化が完了。 ・令和3年度の耐震改修工事にて、2施設が追加され、計11施設までの配水管の耐震化が完了し、耐震化率が約61%となる見込み。		R3 決算額	87,340
		R4 予算額	18,192
		R4 決算見込額	18,326
		KPI(任意)	
耐震化済み施設数			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
6	11	11	18

67. 防犯カメラ設置費助成事業



所管	町民生活課 生活環境係		
着手状況	R元年度 着手済		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額	0		
R4 予算額	200		
R4 決算見込額	200		
KPI(任意)			
設置台数 (台)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
0	8	9	12

今年度 (R4) までの具体的な実施内容
<p>□防犯カメラ設置費助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犯罪の抑止を目的とした防犯カメラを設置する町内会・自治会に対して補助金を交付することにより、地域の防犯活動を推進し、安全で安心なまちづくりの実現を図ることを目的に、令和元年度から事業開始。 ・これまでの実績は、4団体、計8台の設置に対し補助金を交付した。(1団体2台)

68. 防犯街路灯(LED化)設置費助成事業



所管	町民生活課 生活環境係		
着手状況	H27年度 着手済		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額	4,030		
R4 予算額	2,800		
R4 決算見込額	2,632		
KPI(任意)			
各団体が管理する防犯街路灯のLEDが占める割合 (%)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
47.7	73.53	77.74	83

今年度 (R4) までの具体的な実施内容
<p>□防犯街路灯LED化助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯街路灯を設置・改良する町内会・自治会に対して補助金を交付し、夜間における治安の維持と交通の安全を図る。 ・平成28年度から令和5年度までの8年で町内防犯街路灯の80%をLED化することを目標に推進している。 ・令和3年度の実績は新設を含めて144本の防犯街路灯がLED化、全体としては、73.5%のLED化率となっている。

69. 通学路安全対策事業



所管	子ども未来課 学校教育係		
着手状況	過年度に着手済		
事業費の内訳 (単位: 千円)			
R3 決算額	0		
R4 予算額	0		
R4 決算見込額	0		
KPI(任意)			
CSの連携を踏まえた通学安全対策会議開催率 (%)			
H30 基準数値	R3 確定数値	R4 見込数値	R6 目標数値
-	100	100	100

今年度 (R4) までの具体的な実施内容
<p>[R2※R1以前より着手]</p> <p>□交通安全プログラムの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路安全対策会議により、学校・道路管理者・警察など関係機関と連携し、通学路の安全対策を講じた。 ※危険箇所の合同点検を行い、道路整備の進捗確認や不審者情報の共有、交通安全設備の設置要望などを行った。 <p>[R3~]</p> <p>□学校運営協議会との接続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者をはじめとした地域住民からも広く意見や情報を得る手段として、連携を試みる。 ※現時点では具体的な着手はないが、今後所管部局である生涯学習課と連携の上進める予定。 ※通学路安全推進会議構成者に学校運営協議会委員である学校長・教頭・PTAが含まれているため、実質的には接続はなされている。